診療技術部門新人教育プログラム

A．初年度カリキュラム

4 月 1 日採用時に約一週間の新入職員研修があります。全職種共通ですが診療技術部門はそのうち 2 日間参加していただきます。

1．　新入職員研修２日間の主な内容（診療技術部門）

新入職員研修（診療技術部門）共通
医療安全、感染対策の初期講習（全職種共通） 医療安全管理室、感染対策室の専従スタッフからインシデント、アクシデント発生時の対応や感染性廃棄物の取り扱い、針刺し事故時の対応などの講義を受けます。
患者の急変対応（診療部各科室共通） 患者急変時の応急処置、応援スタッフの要請などの実習を受けます。
電子カルテの操作説明（診療部各科室共通） 電子カルテの基本操作と各科室独自のシステムの操作をシステムエンジニアから説明してもらいます。

2．　各科室の基本業務の習得

初年度の約半年間から 1 年間かけて一人で当直業務ができるように実際業務の修練に努めてもらいます。

薬剤科教育プログラム（1 年目）		
習得期間	調剤室業務	病棟業務
1 週目	院内オリエンテーション・薬剤科内オリエンテーション	–
2～4 週目	内服系調剤（1 コース目）	重篤副作用 1
5～7 週目	注射系調剤（1 コース目）	重篤副作用 2
8～10 週目	麻薬・無菌調製・院内製剤等　特殊調剤（1 コース目）	重篤副作用 3
11～13 週目	内服系調剤（2 コース目）	重篤副作用 4
14～16 週目	注射系調剤（2 コース目）	重篤副作用 5
17～19 週目	麻薬・無菌調製・院内製剤等　特殊調剤（2 コース目）	病棟業務 OJT
20～22 週目	監査、残留・当直、化学療法(1 コース目)	病棟業務 OJT
23～25 週目	監査、残留・当直、化学療法(2 コース目)	病棟業務 OJT
26 週目～	通常業務（日当直、病棟業務）開始 積極的に院外の研修会に参加し、認定単位の獲得を開始する	–

2023 年 7 月 27 日現在

３．　臨床研究、業績作りの教育
研究テーマの立案、患者データの分析、個人情報保護などについて院内・院外講師の指導を受けます。

４．　各科室において臨床研究や各種研究会での発表に向けていろいろな研鑽を積んでもらいます。尚、初年度期末の成果発表会で新入職者の１年間の業務報告を発表してもらいます。（各科室共通）

Ｂ．２年度以降の研修のカリキュラム（各科室）

初年度研修終了後各科室で複数の業務をローテーションしたり、特定の専門業務の習得に努めてもらいます。

薬剤科教育プログラム（２年目）	
実施内容	到達目標など
教育	新人教育を担当する
教育	院内教育講演の講師が出来るようになる
教育	研究会等へ積極的に参加し、認定取得のための単位を積極的に獲得する
研究	共済学会にて口頭発表を行なう事を目標とする
研究	3 年目に日本病院薬剤師会近畿学術大会にてポスター発表が出来るよう、研究の準備を始める
将来性	個人の特性を判断し、将来的な専門性の方向性を固める

薬剤科教育プログラム（３年目）	
実施内容	到達目標など
教育	院外教育講演（保険薬局向け）の講師が出来るようになる
教育	引き続き研究会等へ積極的に参加し、認定取得のための単位を獲得する
研究	日本病院薬剤師会近畿学術大会にてポスター発表を行なう
研究	4 年目に日本病院薬剤師会あるいは日本医療薬学会等の全国大会にて、ポスターあるいは口頭発表を行なう事を目標とする
認定薬剤師	早ければ老年薬学認定薬剤師の取得が可能となる

C．各専門領域での認定資格の取得やリーダー研修などのプログラム（診療部共通）

施設認定や診療報酬加算に必要な資格などは病院全体で必要な人数などを検討し、個人の希望も考慮し取得に向けた計画を立てます。また各職種の学会などで主催する研修会や国家公務員共済組合連合会が行う研修会にも参加する機会があります。

取得認定・専門資格

名称	認定機関	既得者
感染制御認定薬剤師	日本病院薬剤師会	1名
抗菌化学療法認定薬剤師	日本化学療法学会	1名
外来がん治療専門薬剤師	日本臨床腫瘍薬学会	2名
外来がん治療認定薬剤師	日本臨床腫瘍薬学会	1名
心不全療養指導士	日本循環器学会	2名
日本糖尿病療養指導士	日本糖尿病療養指導士認定機構	1名
老年薬学会認定薬剤師	日本老年薬学会	1名
認知症ケア専門士	日本認知症ケア学会	1名
公認スポーツファーマシスト	日本アンチ・ドーピング機構	1名
医療薬学専門薬剤師	日本医療薬学会	1名
日病薬病院薬学認定薬剤師	日本病院薬剤師会	8名
研修認定薬剤師	日本薬剤師研修センター	1名
認定実務実習指導薬剤師	日本薬剤師研修センター	3名

D．学会活動の支援

・学術集会への参加
・研究会等での発表や論文作成指導
・臨床研究の基礎的な指導

発表演題

演題名	学会名	年度
手指消毒薬使用量が及ぼす多剤耐性菌発生率への影響	第70回日本化学療法学会西日本支部総会	2022
新型コロナウイルスワクチン(BNT162b2)2回接種後8カ月時点のIgG抗体価減少に関する検討	第70回日本化学療法学会西日本支部総会	2022
がん化学療法による心機能障害予防のための新規プロトコールの導入	第71回共済医学会	2022
中規模病院における抗菌薬適正使用支援チームが患者アウトカムおよび医療費に与える影響	第71回共済医学会	2022
新型コロナワクチン接種後の抗体価解析	第71回共済医学会	2022
ニルマトレルビル/リトナビル使用患者における禁忌薬該当症例の調査と対応策	第32回日本医療薬学会年会	2022

2023年7月27日現在

白内障手術クリニカルパス変更が術後感染発生数及び抗菌薬感受性に及ぼす影響	第 70 回日本化学療法学会総会	2022
抗 VEGF 抗体薬適正使用のための PBPM 実施による薬剤師の貢献	日本臨床腫瘍薬学会 2022	2021
がん化学療法下で心不全管理に介入した 1 症例	日本臨床腫瘍薬学会 2022	2021
抗 VEGF 抗体薬使用時における尿蛋白検査実施率向上のための PBPM 実施に向けた薬剤師の取り組み	第 70 回共済医学会	2021
感染症専門医不在の中規模病院における AST 専従薬剤師主導の抗菌薬適正使用支援活動評価	第 31 回日本医療薬学会年会	2021
薬薬連携における抗がん剤の副作用フォローアップ調査	第 31 回日本医療薬学会年会	2021
病院・薬局薬剤師・薬学生合同勉強会による学習効果	医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム	2021
eGFR 勾配を評価項目とした、DPP-4 阻害薬（リナグリプチン）の腎保護効果の検討	医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム	2021
Three case reports on the visual disorder in Parkinson's disease patients	第 62 回日本神経学会学術大会	2021
COVID-19 におけるトシリズマブ投与患者の臨床像について	第 69 回日本化学療法学会総会	2021
中規模病院の AS 活動におけるアウトカム評価と薬剤費削減効果	第 69 回日本化学療法学会総会	2021
白内障手術のクリニカルパス変更による抗菌薬適正使用への影響と薬剤費削減効果	第 69 回日本化学療法学会総会	2021
COVID-19 症例に対するタブレット端末を用いた吸入手技指導の導入	第 69 回共済医学会	2020
中小病院における 2 年間の AS 活動に対する臨床アウトカムの解析	第 30 回日本医療薬学会年会	2020
AS 活動の臨床アウトカム評価～感染症専門医不在の中小病院における薬剤師の重要性～	第 68 回日本化学療法学会総会	2020
吸入指導における地域連携セミナーの評価	第 68 回共済医学会	2019
自験例を参考に CT 画像からインスリン注射部位の皮下腫瘤に対応した一症例	第 7 回日本くすりと糖尿病学会学術集会	2018
レミフェンタニル静注用の先発品と後発品におけるコアリング発生要因	日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 第 12 回学術大会	2018
地域保険薬局の資質向上に向けた病院薬剤師の役割～トレーシングレポートを用いた副作用をモニタリングの強化とその先に～	近畿薬剤師合同学術大会 2018	2017
ハイフローセラピーが吸入薬に及ぼす影響に関する検討のパイロットスタディ	第 27 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	2017
当院における転倒・転落のインシデントと睡眠薬の関連性に関する研究報告	第 27 回日本医療薬学会年会	2017

2023 年 7 月 27 日現在

The relationship between taking Calcium blocker and Drug-induced parkinsonism(DIP)	XXIII World Congress of Neurology	2017
インスリン注入保持時間に着目した 自己注射手技の実態調査	第 5 回日本くすりと糖尿病学会学術集会	2016
病薬間における吸入療法の情報共有 ～薬剤師地域連携研究会を通じて～	第 26 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	2016
保健薬剤師と病院薬剤師の共働作業による外来患者の安全管理	第 26 回日本医療薬学会年会	2016
薬剤師による薬剤自己管理評価チェックシートを用いた管理方法の検討	第 26 回日本医療薬学会年会	2016
検査値を院内処方箋に表示することによる疑義照会内容の変化～カリウム値を中心に～	第 26 回日本医療薬学会年会	2016
副作用自覚症状チェックシートを用いた新人薬剤師教育体制の構築	第 26 回日本医療薬学会年会	2016

論文等

タイトル	発表者名	学会名、掲載誌名等
Effectiveness of Noncertified Pharmacist-Led Antimicrobial Stewardship Programs in a Medium-Sized Hospital Without an Infectious Disease Specialist: A Retrospective Pre-Post Study.	Sawada K, et al.	*Open Forum Infect Dis.* 2023 Mar 4;10(3)
SARS-CoV-2 ワクチン接種後の副反応発現率と IgG 抗体価解析	沢田他	日化療会誌，70(1)，73-79 (2022).
トレーシングレポートを用いた地域連携システムの構築	権藤、村岡	日経 DI（2017 年 4 月号）
薬局と連携し、副作用発見	権藤、村岡	薬事日報（2017 年 1 月 1 日）
薬剤師による CT 画像を利用した介入によって血糖コントロールが改善した一症例	河野他	くすりと糖尿病，5(2)，222-227（2016).

E．他施設への研修出向

連合会病院を中心に 1 年から数年の短期研修に参加していただきます。

2023 年 7 月 27 日現在